

事業所職員向け

児童発達支援 自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓		
	2	職員の配置数は適切であるか	✓		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	✓		パーテーションを用いて空間を区切るなどしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	✓		活動に合わせ、仕切りをつけるなど空間づくりをしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	✓		毎日の職員での振り返りを行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓		御意見を大切にし、日々の業務に活かしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓		評価表は年度ごとにホームページ内に掲載しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		✓	第三者委員会は設置しておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓		社内外研修機会を保つよう努力しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	✓		支援計画の作成には会議を行い、適切に支援計画をたてています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓		一般的に用いられ、かつ、ホップで必要とされるツールに修正しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	✓		ガイドラインを遵守し、計画的に支援を行っています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	✓		一人一人の特性など様々な観点から計画をたて、支援をおこなっています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓		1か月ごとのスケジュールを組み立てています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓		固定化しないよう、静と動を組み合わせ楽しいプログラムを立案しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	✓		個別支援、集団活動の観点から適宜支援計画を作成しています。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓		毎朝、スタッフ同士での申し送りを言い確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	✓		必ず打ち合わせをし、反省次の課題を見つけ日々活かしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓		連絡帳の内容も細かく記載し、スタッフ同士での情報共有にも力を入れています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	✓		モニタリングの機会も徐々に通常通りになっています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	✓		こども家庭課など、市の行政機関との連携を積極的に行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		✓	受け入れを行っておりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		✓	受け入れを行っておりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		✓	適宜行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		✓	今後、積極的に行ってきたいです。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓		他事業所との連携を積極的に行っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		✓	交流機会は設けませんでした。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	✓		リモート会議での出席を行いました。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		メインは連絡帳ですが、送迎時に直接お話ししています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	✓		不特定多数の方々にホップ主催で講座を行っていますが、参加は任意です。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓		契約時、丁寧な説明を心がけています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	✓		作成後、保護者様へ説明し同意を得ています。

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓		その都度、相談助言を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		✓	コロナ禍により、保護者会開催が難しが今後行っていきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		相談や申し入れについては適宜行っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		月1回のホップだよりの発行を行っています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	✓		厳重な管理のもと行っています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓		連絡帳や電話での情報交換など行っています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		✓	地域活動がコロナ禍で困難になってしまいました。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	✓		避難訓練を行い、緊急災害時の対応を保護者へ周知しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓		地震、火事、不審者訓練のいずれかを毎月行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	✓		服薬、てんかん等の状況を把握しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓		アレルギーについて対応をしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓		ヒヤリハット事例集の収集に努め対応しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓		研修に参加をし、職員研修に繋げています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	✓		話し合いをもとに、契約書や計画書に記載しています。